

三九三七番

草枕くさまくら 旅去たびいにし君きみが 帰かへり来こむ 月日つきひをし知らむ  
すべの知しらなく

三九三八番

かくのみや 我あが恋こひ居をらむ ぬばたまの 夜よるの  
紐ひもだに 解とき放さけずして

三九三九番

里さと近ちかく 君きみがなりなば 恋こひめやと もとな思おもひ  
し 我あれそ悔くやしき

三九四〇番

万代よろづよに 心こころは解とけて 我わが背せ子こが 捻つみし手見てみ  
つつ 忍しのびかねつも